

No3 地域版  
2011. 4. 14  
発行者:長谷川 昇  
事務所046-876-7477  
横須賀市長坂3-3-11  
hasedon2@gmail.com

#### プロフィール

1962年6月30日生まれ (48才) 横須賀市長坂で生まれる  
大楠小・中学校卒業 / 県立横須賀高等学校 (33期) 卒業(陸上部)  
明治大学政治経済学部政治学科卒業 / 私立三浦高等学校 社会科講師  
1991(年度)~1997横須賀市立鴨居中学校教諭 (バレーボール部顧問)  
1998~2010 横須賀市立池上中学校教諭 (ハンドボール・陸上部顧問)  
2007~2010 三浦半島地区教職員組合書記長

●行政関係委員等 2005・06横須賀市適正配置等検討委員会/2007・08横須賀市教育基本計画推進委員会委員/2010 横須賀市教育振興基本計画委員会委員等  
★無所属 ●推薦団体 連合神奈川・三浦半島地域連合・三浦半島地区労・神奈川県教職員組合・三浦半島地区教職員組合・情報労連神奈川(N T T)・日本郵政グループ労組神奈川・JAよこすか葉山 他

## 3.11東日本大震災から様々な教訓を学び、 「災害に強い横須賀」にむけて早急にとりくみます



3月11日、東北・関東大震災において亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された多くの方々の一日も早い復興を願っています。▼今、日本は大震災・津波・さらには福島第一原子力発電所の放射能漏れという大変な事態となっており、今後どう対応するのかまさに「政治のリーダーシップ」が問われています。▼3月11日の夜、大停電の中皆さんはどう過ごされたでしょうか。電気がない、情報が入らない、電話が通じない、電車が止まって動かない・・・等の事態となりました。

津波の心配がある大楠地区のみなさんは、大楠中学校と国際村に避難をしました。私もその場所に行き、みなさんとお話をしましたが、避難所は行政・地域の役員の方・大楠中学校の教職員の献身的な努力で運営がされておりました。その中で、備蓄・配給食糧の不足、誰でも使用可能な電源の確保、情報・連絡の不足、トイレの整備等の課題が指摘されていました。今後、今回の経験と課題を整理し、市内全域の具体的な対応をまとめる必要があります。行政に対して何を提言していけばいいのか、改めて取り組む必要があることを痛感しました。

☆長谷川昇は提案します。まずは、三浦半島の津波対策！☆



- ① **津波ハザードマップの改定** 現在のマップでは震源が相模湾沖で津波4mを想定したもので、佐島・芦名、長井、浦賀・久里浜の地域しかありません、今回の地震相当の予測（たとえば津波8m・10m）を元にした横須賀市海岸部全域を想定したマップづくり。
- ② **海拔表示板の設置** 津波の被害が想定される地域においては、海面からの海拔の表示板が必要です。避難する目安として設置が必要です。
- ③ **避難路の確保** 地域ごとに、個々の避難ルートを想定した、避難路を確保整備する施策。
- ④ **災害時要援護者の支援** 横須賀市はお年寄り・障がいを持つ方の災害時の各地域の共助の仕組みづくりを進めるために「災害時要援護者支援プラン」を2009年3月に策定しています。しかし、この制度の周知が不十分です。地域のネットワーク作りとして具体的なとりくみをすすめます。

## 原子力より市民の安心・安全が最優先！

▼福島第一原子力発電所の事態は、日本の未来を左右するほどの危機的な状況が続いています。私たちの命・健康に与える影響のみならず、農産物・水産物に与える影響、放射能の汚染など計り知れない事態となっています。三浦半島は農業、漁業が盛んです。その意味では他人事ではあり得ません。早急の安全対策が急務です。▼横須賀に停泊する原子力空母はじめ、原子力艦船についても、もし一旦放射能漏れの事故があれば、三浦半島のみならず、関東一円の住民への健康被害、農作物・漁業への深刻な影響が予想されます。原発だけでなく、原子力艦船に起因する問題についてもとりくみ市民の安心・安全が保障される街づくりをすすめます。



**長谷川昇は、くらし・教育・地域・平和を大切にしま**

す

### くらし (Life)

- 高齢者や障がいのある人も安心してくらす街、災害に強い街づくりにとりくみます。
- 若い世代の正規雇用の推進、地元産業の育成と雇用の創出にとりくみます。

### 教育 (Education)

- 25年間の教員経験をいかし、子どもの学びを保障するための条件整備につとめます。
- 「教師が子どもと向き合う時間の確保」のため、教職員の多忙化の解消にとりくみます。

### 地域 (Areas)

- 「長坂のごみ焼却場」建設計画については、安全性等、地域の声をいかします。
- 地域に根ざした学びの場を推進し、地域コミュニティの拡充にとりくみます。

### 平和 (Peace)

- 日本国憲法の理念をくらしにいかします。
- 原子力空母・原発に起因する問題にとりくみ、市民の安心・安全が保障される街づくりをすすめます。

